## <u>デイリー</u>レポート

船長署名 フ, Onan a

船名	大 島 丸		情報発信日時			2	2025	年	6	月	17	日	12	時	00	分
現 在 位 置	航海中		時	分		7	既位									
		<lat.< td=""><td></td><td>_</td><td></td><td>١</td><td colspan="2">N<del>/S</del></td><td colspan="2">ong</td><td>_</td><td colspan="2"></td><td colspan="2">E <del>/ ₩</del> &gt;</td></lat.<>		_		١	N <del>/S</del>		ong		_			E <del>/ ₩</del> >		
	停泊中	12	時	00 分		1	既位				京浜港横					
		<lat.< td=""><td>35</td><td>- 2</td><td>7.3</td><td>١</td><td>1<del>/S</del></td><td colspan="2">Long.</td><td>13</td><td>39</td><td>-</td><td>38</td><td>3.6</td><td>Ε<i>†</i></td><td>₩&gt;</td></lat.<>	35	- 2	7.3	١	1 <del>/S</del>	Long.		13	39	-	38	3.6	Ε <i>†</i>	₩>
	錨泊中		時	分		7	既位									
		<lat.< td=""><td></td><td>-</td><td></td><td>١</td><td>\<del>/ S</del></td><td colspan="2">Long.</td><td></td><td></td><td>-</td><td></td><td></td><td>Ε</td><td>₩&gt;</td></lat.<>		-		١	\ <del>/ S</del>	Long.				-			Ε	₩>
	操業中		時	分			既位									
		<lat.< td=""><td></td><td>-</td><td></td><td>N</td><td>\<del>/ S</del></td><td colspan="2">Long.</td><td></td><td></td><td>-</td><td></td><td></td><td>E/</td><td>₩&gt;</td></lat.<>		-		N	\ <del>/ S</del>	Long.				-			E/	₩>
	観測中		時	分		7	既位									
		<lat.< td=""><td></td><td>-</td><td></td><td>١</td><td>\<del>/ S</del></td><td>Lo</td><td>ng.</td><td></td><td></td><td>-</td><td></td><td></td><td>E/</td><td>₩&gt;</td></lat.<>		-		١	\ <del>/ S</del>	Lo	ng.			-			E/	₩>
本船状況気象海象	針路:	-	度	船速:		-	ŀ	۲t	天候	:	b	С				
	風向:	ENE		風速:		2.0	m	ı/s	視界	:	-	7	湟	<b>E</b>		
	波高:	0.1	m	風浪階級	:	1			うねり階級: 0							
乗船者 状況	乗組員	現在員:		19	名		健康	状態	:		良好			不良	-	
		摘要:														
	生徒	現在員:		16	名		健康	状態	:		良好			不良	-	
		摘要:														
	指導教官	現在員:		3	名		健康	状態	:		良好			不良	_	
		摘要:														
	アト・ハ・イサ・- スタッフ	現在員:		1	名		健康	状態	:		良好			不良	-	
		摘要:														

## ○本船動静

6月16日13時30分岡田港出港 15時50分館山湾投錨

6月17日08時10分館山湾抜錨 11時15分京浜港横浜区入港

## 【学校側コメント】

本日は8時の旗揚げ後に抜錨して横浜港へ。横浜港の着岸バースは、前航海同様に横浜新港岸壁です。 今日は暑い一日になる予想です。朝の体操の時、真面目にしっかりと身体を動かしただけで、汗がにじ み出る気温でした。

抜錨して暫く航行すると浦賀水道航路に入ります。浦賀水道航路では全員がコンパスデッキに出てオールハンになります。コンパスデッキは日陰がなく、日差しをまともに受けましたが、しかし、船は走ることで「風」を生みます。その風で幾らか暑さは凌げます。様々な条件の中、大島丸で行われる学習・実習は海洋国際高校生徒だから体験出来るものなのです。5日間の大島丸での生活は、自身の進路を決める要因にもなります。日々の学習・実習には真面目に真剣に取り組んで欲しいと思っています。

横浜新港着岸後は昼食、教官講義、そして帆船:日本丸を含めた「みなと博物館見学」に出発します。熱中症対策をしながら気を付けて行って来て欲しいと思っています。